

実行部会設置し支援活動

北海道教区 長期的支援を視野に

北海道教区（寺井紹道教務所長）は4月から、同教区災害対策委員会内に迅速で的確な災害支援を行う新しい組織「東日本大震災実行部会」（林川涉部長）を設置し、東日本大震災の被災地支援を行っている。

同実行部会は、組織的かつ長期的に被災地をサポートしようと設置。部長はじめ7人の委員は50歳未満の僧侶で構成し迅速な支援活動を目指している。仙台別院内の東北現地本部などと連絡調整し、被災地からの要請（物資や人材など）を北海道教区内に広報し、派遣する僧侶・門信徒ボランティアを調整。活動支援のために教区内寺院への支援金

「同窓会関東支部」と「関東地区つどいの会」の有志。5月の大型連休を利用して10人がボランティア活動を行った。さらに、広く支援活動を呼びかけるため、同窓会関東支部のホームページに活動報告を掲載。全国から届けられた活動支援金で東北教区災害ボランティアセンターに扇風機8台を贈った。

中央仏教学院 通信教育生ら の組織が活動

関東在住の、中央仏教学院通信教育生と卒業生が、東日本大震災直後からボランティア活動を行っている。同窓会関東支部の合

斎藤仁之さんは「ボランティア活動が継続的に行われるようになりたい」と話している。

5月は2回に分けて実施。仙台別院に設置された東北教区災害ボランティアセンターに登録し、活動しているのは唱団「衆会」は6月20日登録し、活動した。毎

林川部長は「長期的な支援が必要。被災地の方と少しでもお話しすることができが心の支援にもなると思う。被災地の皆さまの支えになるような活動を続けていきたい」と話している。

阪神・淡路大震災で甚大な被害を受けた神戸東組（藤川正敏組長）は、全国からボランティアのおかげ。何でも言わずに駆け付けてくださり、さっと去つて行かれたボランティア8台を贈った。

斎藤仁之さんは「ボランティア活動が継続的に行われるようになります。今こそ、私たちの思いを形にする動きを行っていきます。現地に行けなくて時。現地に行けなくても義援金を寄せたり、涙する方々が全國にいる」と語っている。

5月は2回に分けて実施。仙台別院に設置された東北教区災害ボランティアセンターに登録し、活動した。毎

神戸から支援 感謝の思いで

藤川組長は「今、私たちのお寺があるのは、全国からのボランティアのおかげ。何でも言わずに駆け付けてください、さっと去つて行かれたボランティアの方々に本当に感謝しています。今こそ、私たちの思いを形にする動きを行っていきます。現地に行けなくて時。現地に行けなくても義援金を寄せたり、涙する方々が全國にいる」と語っている。

5月は2回に分けて実施。仙台別院に設置された東北教区災害ボランティアセンターに登録し、活動した。毎

町の親書を携え 相馬で炊き出し

直美さんと共に同市の中学校と保育園を訪問し、子どもたちと交流のひとときを過ごしました。震災孤児救援のために組内で集めた義援金を同市に届けた。

北海道・上川南組 相馬で炊き出し

北海道教区の上川南組（江尻法誠組長）は、5月27日から29日まで、避難生活が続く福島県相馬市で被災者へ店を経営する門徒が中心となり、石狩鍋600食、海鮮カレー500食を振る舞った。28、29日には、飲食店を経営する門徒が中

北海道教区の上川南組 相馬で炊き出し

北海道教区の上川南組（江尻法誠組長）は、5月27日から29日まで、避難生活が続く福島県相馬市で被災者へ店を経営する門徒が中心となり、石狩鍋600食、海鮮カレー500食を振る舞った。28、29日には、飲食店を経営する門徒が中